

## 水稻除草剤

# サラブレッドGO<sup>®</sup> 1キロ粒剤

イマズスルフロン	0.9%
オキサジクロメホン	0.6%
ピラクロニル	1.0%
プロモプチド	9.0%

種類名／イマズスルフロン・オキサジクロメホン  
ピラクロニル・プロモプチド粒剤  
農林水産省登録／第24586号  
毒性／普通物\*  
有効年限／5年  
包装／1kg×12、10kg、  
40kg(受注生産の担い手直送規格)

## 特 長

- 4成分でSU抵抗性雑草や多年生雑草を含む幅広い草種に効果を発揮します。
- ノビエを長期間抑制し、ホタルイやコナギ、オモダカ、クログワイ等の雑草に高い効果を示します。
- 田植同時処理も可能です。

## 適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカフ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植時	1kg	本剤 1回 イマズスルフロン剤 2回 オキサジクロメホン剤 2回 ピラクロニル剤 2回 プロモプチド剤 2回	田植同時散布機 で施用  湛水散布 又は 無人航空機 散布
	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで				
直播水稲	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカフ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による 表層はく離	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

## 使用にあたって

### ■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。ホタルイ、ウリカフは3葉期まで、ヘラオモダカは5葉期まで、ミズガヤツリは草丈15cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、オモダカ、コウキヤガラは発生初期まで、クログワイは発生始期、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 雑草害をもたらす栽培目的以外のイネの防除に使用する場合は、発生前から発生始期(鞘葉抽出期)に有効なので、散布適期を失ないように使用してください。また、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 除草効果が低下するおそれがあるので、著しい降雨が予想される場合には散布を控えてください。
- 本剤を無人航空機で散布する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 空袋等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

#### ■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。

#### ■蚕毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

#### ■水産動植物への注意

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

#### ■安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

#### ■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2023年4月3日現在の登録内容に基づいています。